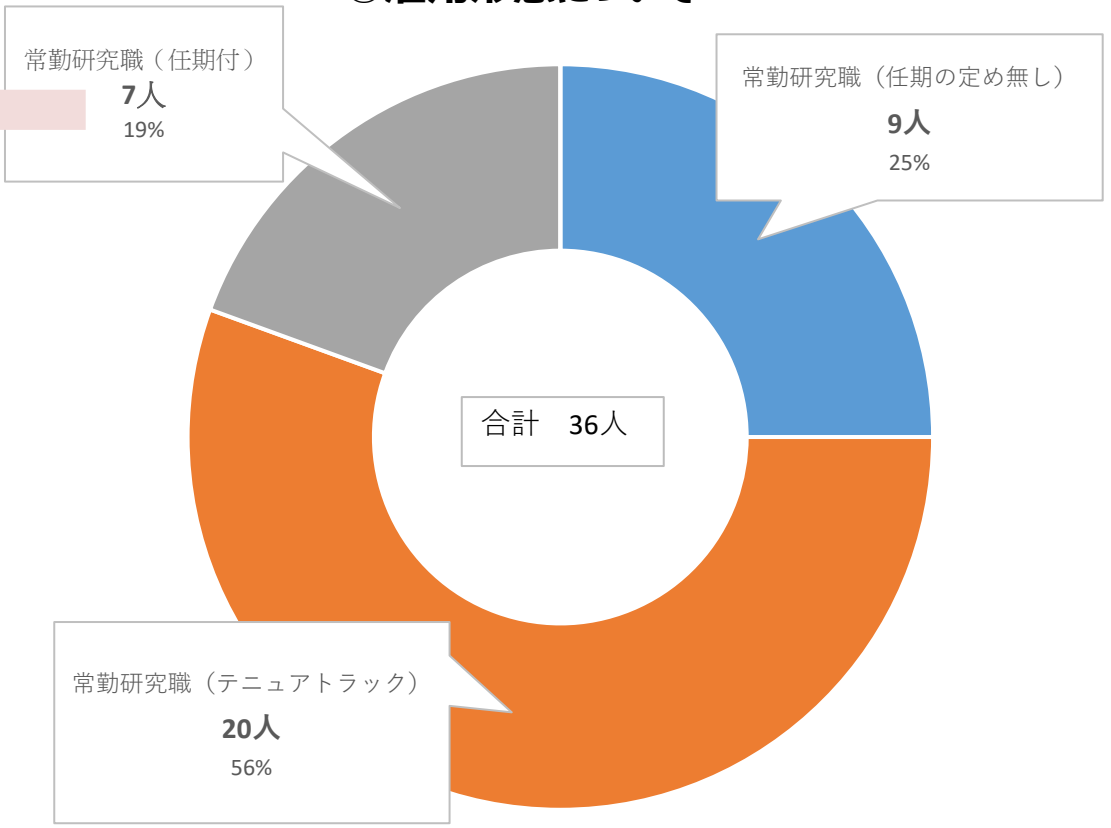
令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況①）

令和２年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員となった者に対して、研究活動状況等について追跡調査を実施

- 調査実施時期：R5.9～10月
- 調査対象期間：R2～R4年度の3年間
- 調査対象者数：40名、回答者数：36名（回答率　90.0%）

○雇用形態について

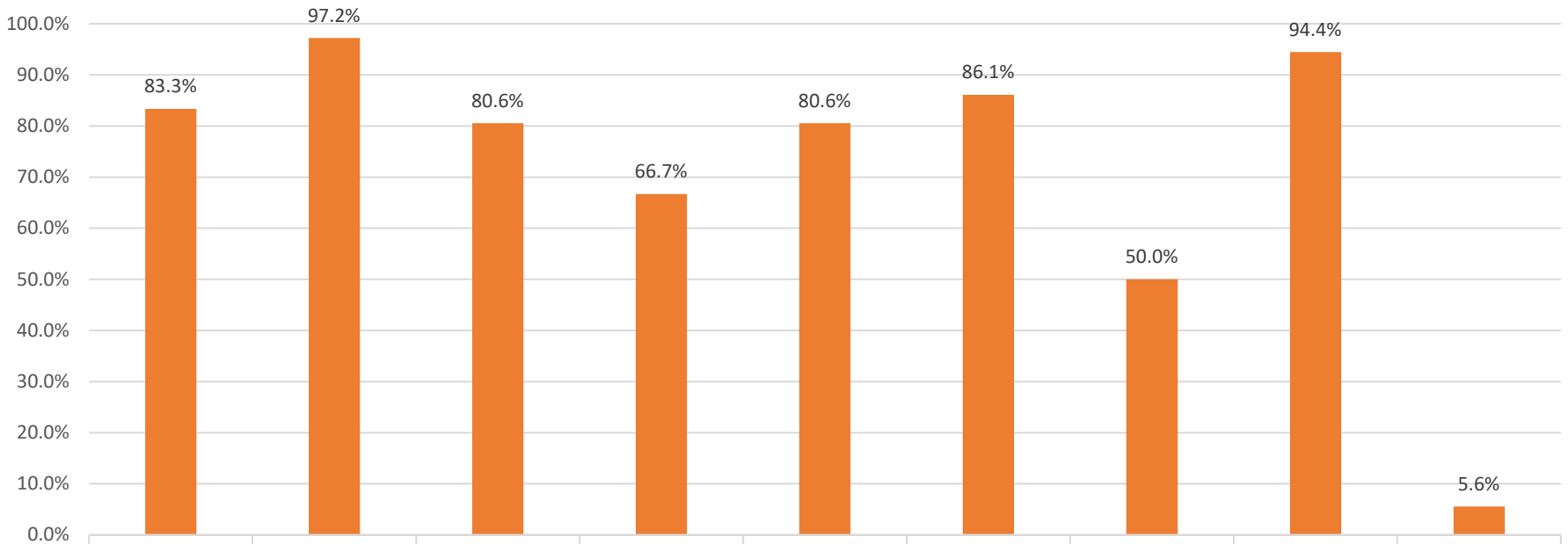


常勤研究職（任期付）の雇用期間詳細
（①任期②更新可能回数）

- ①5年 ②制限なし
- ①5年 ②1回 ※2人該当
- ①5年 ②1回（更新後の任期は2年）
- ①5年 ②再任可、再任されれば任期無し
- ①5年 ②特に定めなし
- ①1年 ②4回

令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況②）

○研究活動状況について

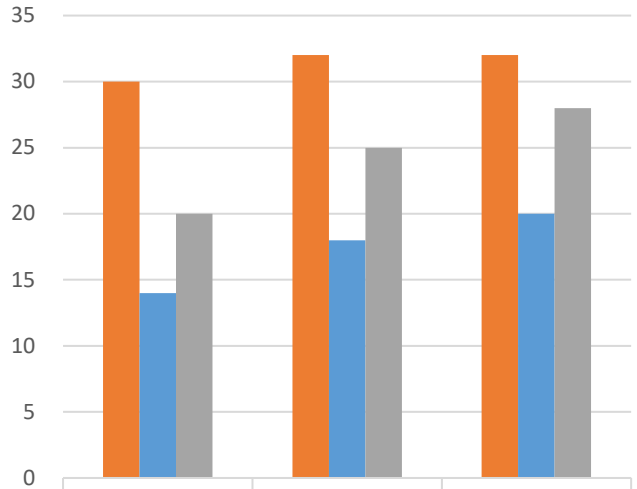


	1 研究責任者又は若手研究責任者として、研究に従事している	2 自ら設定した研究テーマの研究に従事している（複数の研究に携わっており、その一部が自らの設定した研究テーマである場合を含む）	3 メンターの配置等、研究への助言を受けられる体制が用意されている	4 研究が十分に行えるよう研究資金の措置がなされている	5 研究スペースの確保、共用機器の使用等、研究に必要な環境が用意されている	6 年間の業務時間のうち、研究活動に従事する時間が５０％以上である	7 研究員や事務補佐員等、研究や事務所処理のサポート体制が用意されている	8 学会参加、論文発表等の情報発信を積極的に行っている	9 その他
人数	30人	35人	29人	24人	29人	31人	18人	34人	2人

令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況③）

○研究活動実績について（論文発表）

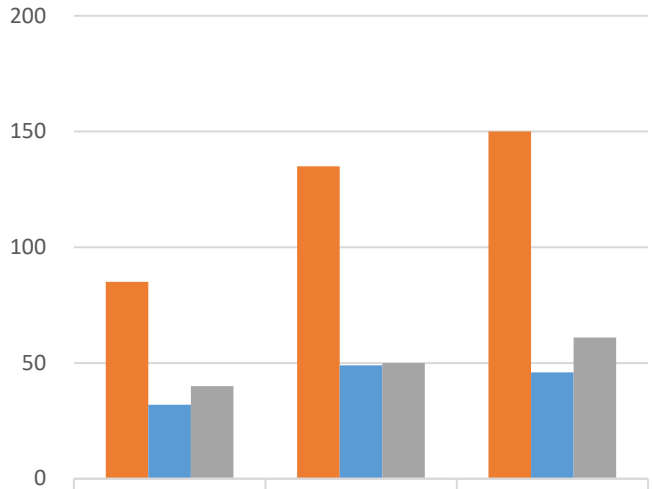
＜論文発表人数＞



	1年度目	2年度目	3年度目
論文発表人数	30（83.3%）	32（88.8%）	32（88.8%）
うち、国際共著論文	14	18	20
うち、第一著者・責任著者	20	25	28

※括弧内は回答者数に対する論文発表人数の割合

＜論文数＞



	1年度目	2年度目	3年度目
論文数（件）	85	135	150
うち、国際共著論文	32	49	46
うち、第一著者・責任著者	40	50	61

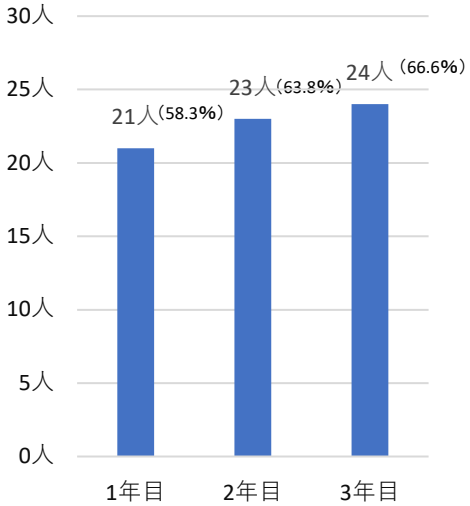
最も学術的価値の高い論文が掲載されたジャーナル名（第一著者・責任著者のみ・3年度目）

○Advanced Materials Interfaces ○Angewandte Chemie International Edition ○APL Materials ○Applied Energy ○Applied Thermal Engineering ○Biophysics and Physicobiology ○Cell Reports ○Cells ○Chemical Science○Coordination Chemistry Reviews ○Ecological Research ○ECS Journal of Solid State Science and Technology ○Food Control ○Frontiers in Neuroscience ○Frontiers in Pharmacology ○Geometric and Functional Analysis ○Heliyon○International Journal of Clinical Oncology ○International Journal of Housing Markets and Analysis ○iScience ○Journal of Low Temperature Physics ○Journal of Science and Medicine in Sport ○Macromolecular Rapid Communications ○Nature Communications○Physical Review A ○Physical Review B ○Physical Review Letters ○Physical Review Research （アルファベット順）

令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況④）

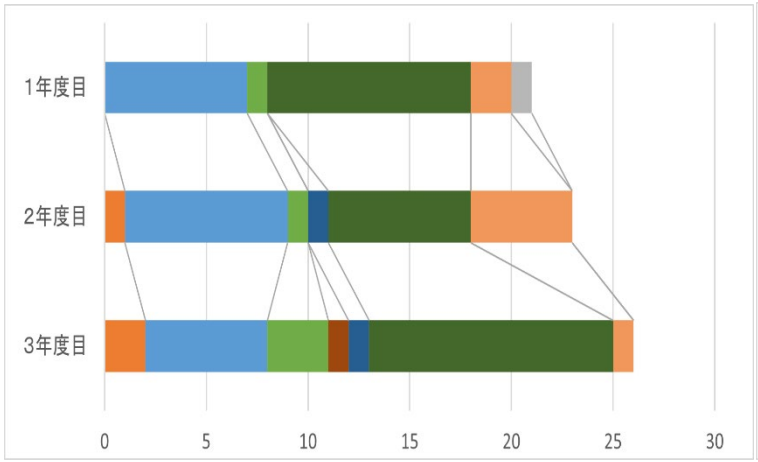
○研究活動実績について（科研費）　※各年度2件まで回答

＜獲得人数＞

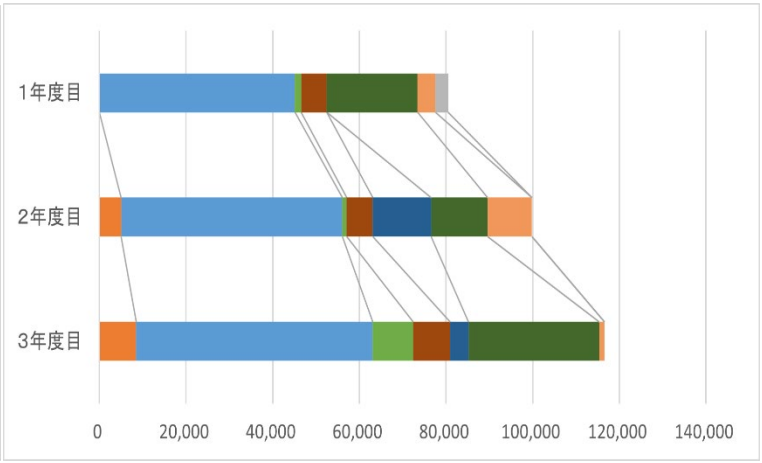


※括弧内は回答数者に対する科研費獲得人数の割合

＜種目別獲得件数（件）＞



＜種目別獲得金額（千円）＞



＜種目別獲得件数（件）＞

	1年度目	2年度目	3年度目
学術変革領域研究(A)	0	1	2
基盤研究(B)	7	8	6
基盤研究(C)	1	1	3
挑戦的研究(萌芽)	0	0	1
若手研究(B)	0	1	1
若手研究	10	7	12
研究活動スタート支援	2	5	1
特別研究員奨励費	1	0	0

＜種目別獲得金額（千円）＞

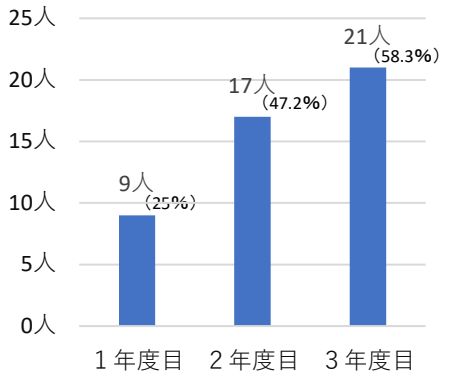
	1年度目	2年度目	3年度目
学術変革領域研究(A)	0	5,000	8,510
基盤研究(B)	45,130	51,080	54,580
基盤研究(C)	1,430	1,000	9,320
挑戦的研究(萌芽)	5,900	6,000	8,510
若手研究(B)	0	13,500	4,300
若手研究	20,980	13,060	30,170
研究活動スタート支援	4,060	10,190	1,200
特別研究員奨励費	3,000	0	0

令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況⑤）

○研究活動実績について（その他外部資金）

※各年度4件まで回答

＜獲得人数＞

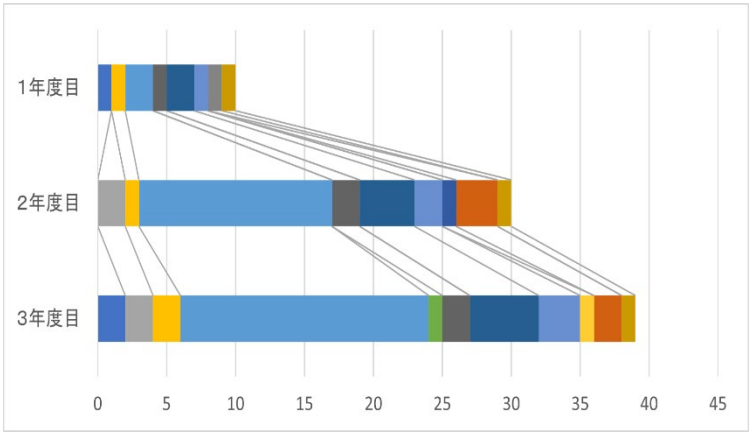


※括弧内は回答者数に対する外部資金獲得人数の割合

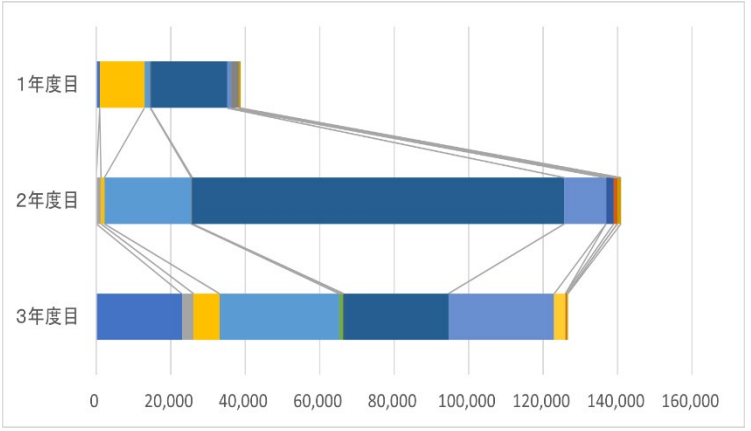
助成団体(3年度目)

○JST ○NEDO ○JAXA ○鷹野学術振興財団 ○持田記念医学薬学振興財団 ○カシオ科学振興財団 ○市村清新技術財団 ○村田学術振興財団 ○石本記念デサントスポーツ科学振興財団 ○三島海雲記念財団○東電記念財団 ○光科学技術研究振興財団 ○中谷医工計測技術振興財団 ○住友財団 ○総合工学振興財団 ○泉科学技術振興財団 ○住友財団 ○田中貴金属記念財団 ○分子科学研究奨励　森野基金 ○関西原子力懇談会 ○豊田理研 ○三和化学研究所 ○笹川科学研究助成 ○ノースタレント補助金・若手研究人材・ネットワーク育成補助金 ○東京エレクトロン など

＜助成団体別獲得件数（件）＞



＜助成団体別獲得金額（千円）＞



＜助成団体別獲得件数（件）＞

	1年度目	2年度目	3年度目
株式会社	1	0	2
一般財団法人	0	2	2
公益社団法人	1	1	2
公益財団法人	2	14	18
公益信託	0	0	1
独立行政法人(JSPS)	1	2	2
独立行政法人(ERCA)	0	0	0
国立研究開発法人(JST)	2	4	5
国立研究開発法人(NEDO)	1	2	3
国立研究開発法人(JAXA)	0	0	1
国立大学等(所属大学)	0	1	0
国立大学等(所属外)	0	3	2
海外	1	0	0
その他・不明	1	1	1

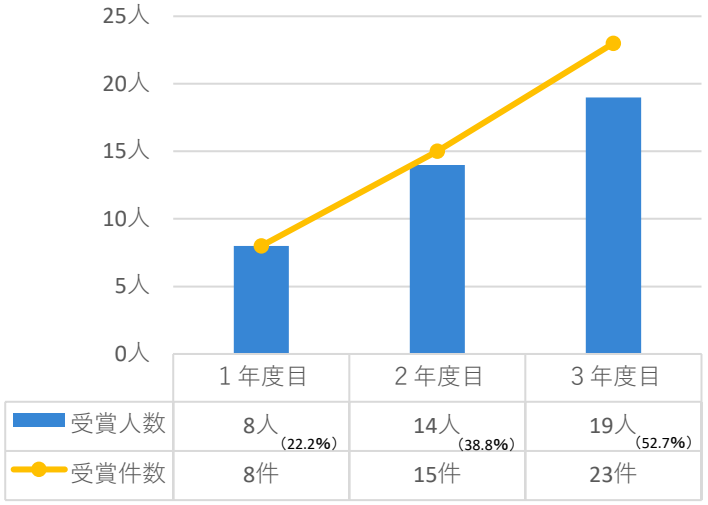
＜助成団体別獲得金額（千円）＞

	1年度目	2年度目	3年度目
株式会社	1,000	0	23,000
一般財団法人	0	1,250	3,150
公益社団法人	12,000	1,000	7,000
公益財団法人	1,500	23,300	32,070
公益信託	0	0	1,000
独立行政法人(JSPS)	200	300	300
国立研究開発法人(JST)	20,500	99,793	28,000
国立研究開発法人(NEDO)	1,000	11,300	28,420
国立研究開発法人(JAXA)	0	0	3,000
国立大学等(所属大学)	0	2,000	0
国立大学等(所属外)	0	965	418
海外	2,100	0	0
その他・不明	500	1,000	300

令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況⑥）

○研究活動実績について（その他）

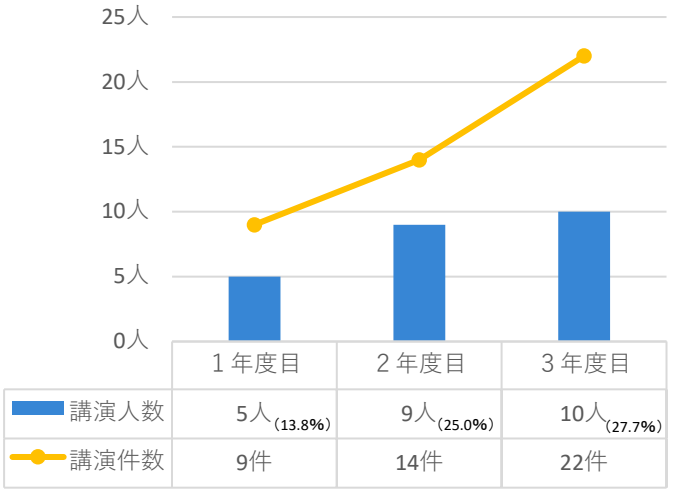
＜受賞歴＞　※各年度3件まで回答



	1年度目	2年度目	3年度目
受賞人数	8人（22.2%）	14人（38.8%）	19人（52.7%）
受賞件数	8件	15件	23件

※括弧内は回答者数に対する受賞人数の割合

＜国際会議招待講演＞



	1年度目	2年度目	3年度目
講演人数	5人（13.8%）	9人（25.0%）	10人（27.7%）
講演件数	9件	14件	22件

※括弧内は回答者数に対する講演人数の割合

賞の名称(3年度目)

○2022 IEEE EPS Outstanding Young Engineer Award ○JIM Young Leaders International Scholar Award ○NDNC2022 Silver Poster Award ○2023 Emerging Investigators (Nanoscale) ○Young Investigator's Award, Redox symposium in Sendai ○第35回 安藤博記念学術奨励賞 ○優秀演題賞（第56回日本痛風・尿酸核酸学会総会）○第78回日本寄生虫学会西日本支部大会ベストプレゼンテーション賞 ○炭素材料学会　研究奨励賞 ○第60回日本生物物理学会年会 若手招待講演賞 ○一般演題講演セッション別優秀賞（第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会）○SI2022 優秀講演賞 ○応用物理学会論文奨励賞 ○地理情報システム学会賞（研究奨励部門）○素粒子メダル奨励賞 ○日本電磁波エネルギー応用学会第16回シンポジウム　研究奨励賞 ○日本機械学会奨励賞（研究）○令和4年度（第16回）薬学研究科長賞 (東北大学大学院薬学研究科) ○2021年度 船井研究奨励賞 ○Young Investigator Award 会長賞（第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会）○令和4年度研究成果表彰（里見賞）○令和4年度 化学系学協会東北大会 ポスター賞 (日本化学会東北支部)

その他実績

○特許出願（4名）
○書籍出版（5名）
○国内共同研究（3名）
○国際共同研究（1名）
○記事掲載（商業誌等）（1名）　など

令和５年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和２年度卓越研究員の研究活動状況⑦）

○主な意見（改善希望事項等）

	意見分類	主な内容
A	制度改善全般に関すること	・研究員向けのヘルプデスクを設立してほしい ・受入機関の体制が整っていない（2件） ・他の研究員との交流の場が欲しい ・他の事業に重複して申請できないことがあり、不便だった
B	ポスト・当事者間交渉・採用後の処遇等に関すること	・受入機関に研究に専念できる場を整えてほしい ・受入機関にテニュアトラックの制度をきちんと整備してほしい。
C	経費に関すること	・経費の年度繰り越しを認めてほしい（4件） ・着任初年度の予算について、着任時期によっては短期間で使用する必要があり非効率（3件） ・経費の支援期間を長くしてほしい ・経費の使途を拡大してほしい